

【資料 4】

# 土砂洪水流に対する対策方針について

---

平成30年11月29日  
広島県砂防課

# 1.土砂洪水流に対する対策方針

## ＜現状＞

- ・7月豪雨では、上流域から大量に流下してきた土砂や流木が下流で堆積し、氾濫した。

坂町：総頭川





# 1.土砂洪水流に対する対策方針

【坂町坂地区】 総頭川 航空レーザ計測による流出・堆積土砂の推定

平成30年7月15・22日計測



堆積 +16,300m <sup>3</sup>	崩壊・侵食 -142,700m <sup>3</sup>
流域内集計 -126,400m <sup>3</sup>	
流出土砂量 126,400m <sup>3</sup>	
土石流等による堆積土砂量 36,100m <sup>3</sup>	
流出土砂量 90,300m <sup>3</sup>	
土砂・洪水氾濫による堆積土砂量 41,900m <sup>3</sup>	
その他流出等土砂量 48,400m <sup>3</sup>	



土石流による巨石・流木の流下



# 1.土砂洪水流に対する対策方針

坂町：総頭川

上流域

砂防事業での対策  
範囲（イメージ）

中流域

下流域



<上流域>

- ・崩壊に伴い、山腹より大量の土砂・流木が土石流化し下流に流出。



<中流域>

- ・上流域より流出した土砂・流木が河道内を流下もしくは局所的に氾濫。



<下流域>

- ・大量の土砂・流木が河道内に堆積し、河道が埋塞し、住宅地に土砂や流水が氾濫、堆積した。



<坂町水尻（国道31号）の状況>



# 1.土砂洪水流に対する対策方針



【写真左・中】大屋大川(呉市)：大量の土砂・流木が河道内に堆積し，河道が埋塞し，住宅地には氾濫した土砂が大量に堆積

【写真右】総頭川(坂町)：河道内の橋梁に大量の流木がせき止められ大量に堆積



橋梁に阻害された流木

榎川(府中町)：土砂・流木が河道内を流下していたが，流木が橋梁に阻害されたため，上流側の河道が埋塞し，住宅地に土砂や流水が氾濫

# 1.土砂洪水流に対する対策方針

## <まとめ>

- ・7月豪雨では、150年確率以上の規模の降雨により、複数の土石流が発生、下流域に大量の土砂・流木とともに流下し、**土砂・洪水流として洪水と一体となって下流に流下した。**
- ・総頭川(坂町),大屋大川(呉市),榎川(府中町)では、**上流から流下した流木が河道内に大量に堆積したり、橋梁に阻害され上流側の河道が埋塞し、下流域に土砂や流水が氾濫・堆積した。**
- ・このため、河川事業より上流域で行う砂防事業では、**上流域からの流木や流砂の流出を防ぐための砂防設備の整備(流木捕捉工,土石流堆積工及び減勢工等)を進める。**
- ・土砂災害警戒区域外（土地の勾配2度未満）となる下流域においては、**流水や土砂が氾濫するおそれがあることをハザードマップや看板等へ表記することを考える。**

# 1.土砂洪水流に対する対策方針

## <砂防事業における土砂・洪水流に関する整備イメージ>

